

令和3年7月1日からの大雨による被害 及び消防機関等の対応状況（第34報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

令和3年11月26日（金）17時00分
消 防 庁 災 害 対 策 本 部
※下線部は前回からの変更箇所

1 気象の状況（気象庁情報）

・顕著な大雨に関する全般気象情報

7月 1日 8時59分 発表 東京都
7月 7日 5時09分 発表 島根県
7月 7日 6時59分 発表 鳥取県、島根県
7月10日 3時29分 発表 鹿児島県
7月10日 7時39分 発表 鹿児島県

・大雨特別警報

7月10日 5時30分 発表 鹿児島県（出水市、薩摩川内市、伊佐市、さつま町）
6時15分 発表 鹿児島県（湧水町）
→14時32分 大雨警報に切替え（警報解除）
7月10日 5時55分 発表 宮崎県（えびの市）
→11時45分 大雨警報に切替え（警報解除）
7月10日 6時10分 発表 熊本県（人吉市）
→11時45分 大雨警報に切替え（警報解除）

2 被害の状況

(1) 静岡県熱海市の土石流（7月3日から活動開始）

7月 3日 ・16人救出済み（死者2、軽傷3）
・16時20分 静岡県相互応援協定に基づき静岡県内消防本部が熱海市へ出動（43隊160人）
・13時30分 静岡県から緊急消防援助隊の出動要請あり
→東京都、神奈川県等（89隊333人）出動
・14時50分 消防庁職員7人を派遣（熱海市消防本部5、熱海市2）

7月 4日 ・建物被害は130棟程度
・13人救出済み（死者1）

7月 5日 ・3人救出済み（死者1）

7月 6日 ・3人救出済み（死者3）

7月 8日 ・2人救出済み（死者2）

7月11日 ・1人救出済み（死者1）

7月13日 ・1人救出済み（死者1）

7月15日 ・1人救出済み（死者1）

7月16日 ・1人救出済み（死者1）

7月17日 ・2人救出済み（死者2）

7月18日 ・3人救出済み（死者3）

7月20日 ・1人救出済み（死者1）

7月24日 ・2人救出済み（死者2）

7月27日 ・1人救出済み（死者1）

8月 6日 ・1人救出済み（死者1）

8月21日 ・1人救出済み（死者1）

8月23日 ・1人救出済み（死者1）

8月28日 ・1人救出済み（死者1）

(2) その他（消防本部等情報）

【神奈川県】

- ・ 7月 3日 逗子市内の自動車専用道路で土砂崩れが発生し、車両が巻き込まれて負傷者1人発生（軽傷）→逗子市消防本部により救出済み。その他、被害なし

【滋賀県】

- ・ 7月 3日 3時15分頃 大津市で土砂崩れが発生
→人的被害なし、住家被害あり

【鳥取県】

- ・ 7月 7日 鳥取市で冠水により62人の孤立が発生→解消済み
- ・ 7月 8日 倉吉市の事業所の裏山で土砂崩れが発生（2人軽傷、1人土砂の中にいる模様）、消防隊・消防団で救助活動中（14時59分覚知）
→18時34分 鳥取中部ふるさと広域連合消防局により救出済み。（軽傷）
鳥取市で土砂による道路寸断により6人の孤立が発生
→7月9日解消済み
倉吉市で土砂による道路寸断により24人の孤立が発生。徒歩により通行可能
→7月9日解消済み
倉吉市で河川洗掘による道路不通により6人の孤立が発生。徒歩により通行可能
→7月10日解消済み
- ・ 7月 9日 三朝町で土砂による道路寸断により1人の孤立発生。人的被害なし
→解消済み

【島根県】

- ・ 7月12日 出雲市佐田町で土砂崩れにより3人の孤立発生。
→島根県消防防災ヘリコプターにより3人救出済み。
- ・ 7月12日 雲南市吉田町で土砂による道路寸断により2棟の孤立発生。人的被害なし
→島根県消防防災ヘリコプターにより3人救出済み。
- ・ 7月12日 雲南市三刀屋町で道路冠水により20棟の孤立発生。人的被害なし

【広島県】

- ・ 7月 8日 東広島市で浸水により29人の孤立が発生
→東広島市消防局により救出済み。人的被害なし
- ・ 7月 8日 竹原市で土砂による道路寸断により50人の孤立が発生
→救助要請なし。ライフライン使用可。
→徒歩により通行可能。人的被害なし
→解消済み
- ・ 7月12日 三次市で土砂崩れによる道路寸断により7人の孤立が発生
→備北地区消防組合消防本部により救出済み。

【高知県】

- ・ 7月18日 宿毛市で土砂崩れにより住家1棟が全壊。人的被害なし

【宮崎県】

- ・ 7月10日 えびの市で道路冠水により救助要請
→西諸広域行政事務組合消防本部により1人救出済み。

【鹿児島県】

- ・ 7月10日 伊佐市で浸水により救助要請（119番通報10件）
→伊佐湧水消防組合消防本部により10人救出済み。人的被害なし
- ・ 7月10日 さつま町で道路崩落により34人の孤立が発生
→解消済み

(3) 人的・住家被害（上記(1)(2)の被害を含む。）

都道府県	人的被害					住家被害					
	死者	行方不明者	負傷者		合計	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	合計
			重傷	軽傷							
	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟
秋田県								1	54	141	196
栃木県								5		5	10
群馬県				1	1			2		4	6
埼玉県								1			1
千葉県									3	17	20
東京都									1		1
神奈川県		1		1	2	1		7	24	454	486
富山県										4	4
岐阜県										6	6
静岡県	26	1	1	2	30	54	11	37	114	329	545
(うち熱海市)	(26)	(1)	(1)	(2)	(30)	(53)	(11)	(34)			(98)
愛知県									2	3	5
滋賀県								2		1	3
京都府								1	3	5	9
大阪府								1		3	4
兵庫県							1			12	13
奈良県										7	7
鳥取県			1	3	4			2	23	251	276
島根県						3	26	124	82	638	873
岡山県				1	1					5	5
広島県							77	154	98	512	841
山口県									3	17	20
香川県				1	1					4	4
愛媛県										21	21
高知県						1		2	1	13	17
熊本県										3	3
宮崎県										2	2
鹿児島県								3	64	181	248
合計	26	2	2	9	39	59	115	342	472	2,638	3,626

3 避難指示等の状況

都道府県	警戒レベル5					警戒レベル4				
	緊急安全確保					避難指示				
	市	町	村	世帯	人数	市	町	村	世帯	人数
兵庫県						1			2	9

4 都道府県における災害対策本部の設置状況

【廃止】岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、鳥取県、島根県、広島県、熊本県、鹿児島県

5 消防隊の体制

静岡県熱海市の土石流事案

- (1) 熱海市消防本部 85人
- (2) 緊急消防援助隊等
・静岡県内の応援隊
→8月3日 全隊引揚げ
- (3) 熱海市消防団 180人

6 消防庁の対応

- 7月 1日 8時59分 応急対策室長を長とする消防庁災害対策室を設置（第1次応急体制）
12時30分 関係省庁災害警戒会議に応急対策室長が出席
13時45分 都道府県、指定都市に対し「梅雨前線による大雨についての警戒情報」発
出
- 7月 3日 12時45分 国民保護・防災部長を長とする消防庁災害対策本部に改組（第2次応急体
制）
13時10分 消防庁長官を長とする消防庁災害対策本部に改組（第3次応急体制）
13時30分 静岡県から消防庁長官に緊急消防援助隊派遣の要請
→横浜市、静岡市、東京都、神奈川県に出動の求め
→5日9時07分 指示に切り替え
→9日 愛知県に出動の指示
→11日 山梨県、長野県に出動の指示
→17日 群馬県に出動の指示
→18日 栃木県に出動の指示
→19日 茨城県、岐阜県に出動の指示
→26日 全隊引揚げ
- 14時50分 消防庁職員5人、消防研究センター職員2人（土砂災害専門家）を熱海市
役所及び熱海市消防本部に派遣
- 7月 8日 10時20分 消防庁職員2人（緊急消防援助隊活動調整）を静岡県災害対策本部に派遣
- 7月10日 6時17分 大雨特別警報が発令された熊本県、宮崎県、鹿児島県に対し、適切な対応
及び被害報告について要請
- 7月17日 総務大臣及び消防庁長官が熱海市被災現場を視察し、市長等と面会

問い合わせ先 消防庁災害対策本部 TEL 03-5253-7527 FAX 03-5253-7537
